

事前評価個表

| | |
|------|----|
| 整理番号 | 36 |
|------|----|

| | | | |
|---------|----------------|--------|------------|
| 地域（地区）名 | かえつ 下越地域 | 事業名 | 森林環境保全整備事業 |
| 計画策定主体 | 新潟県 | 対象市町村 | 村上市ほか8市町村 |
| 事業実施期間 | H23 ~ H27（5年間） | 事業実施主体 | 市、森林組合等 |

| | |
|-----------|--|
| 事業の概要・目的 | <p>計画区域である下越地域は、新潟県の北東部に位置し、村上市、新発田市、五泉市、阿賀野市、胎内市、東蒲原郡阿賀町、北蒲原郡聖籠町、岩船郡関川村、粟島浦村の5市2町2村を包括しています。総面積は381,717haで、そのうち森林面積は301,416ha（うち民有林153,895ha）を占め、林野率は79.0%となっている。</p> <p>民有林153,895haのうち、その6割近くをブナ、ミズナラ、コナラなどの広葉樹が占め、このうちブナは村上市、関川村、阿賀町等の山地に分布している。</p> <p>針葉樹はスギ、アカマツ、クロマツ、カラマツからなり、スギは大部分が沢筋から山の中腹にかけて、クロマツは飛砂防備のため海岸線に沿って植栽されている。</p> <p>民有林の資源内容については、人工林が45,410ha、人工林率が29.5%であり、人工林率では県平均（24.8%）を上回る比較的森林資源が充実した林業地域である。</p> <p>地域の人工林の約8割が4～12齢級（16～60年生）であり保育の適期にあることから、集約化に基づく施業の効率化、低コスト化とこれによる間伐材の搬出利用を一層進め、採算性を向上させながら間伐を推進する。</p> <p>あわせて、植栽及びその後の下刈等の初期保育を着実に実施し、地域の森林整備を推進する。</p> |
| 事業内容・事業費 | <p>森林整備：7,592ha 人工造林、下刈り、雪起こし、枝打ち、除伐、間伐等</p> <p>総事業費：1,992,211千円</p> |
| 費用対効果分析結果 | <p>B/C = 7.52 (総便益(B) = 32,427,457千円、総費用(C) = 4,306,674千円)</p> |
| 評価結果 | <p>必要性：保育対象林分の現状、森林整備の緊急性からみて必要性が高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくり等によって水源涵養、土砂流出防止等の森林の有する多面的機能の発揮に有効である。</p> <p>森林は多様な機能を有しているが、これらの機能は一度失うと回復に長期間を有することから、適時適切な施業を計画的に実施することが不可欠である。</p> <p>本計画は、地域において必要な森林整備を計画しており、効率性、有効性も認められる。</p> <p>このため、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p> |

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 下越

新潟県
 (単位: 千円)

| 大 区 分 | 中 区 分 | 評 価 額 | 備 考 |
|-----------|--|------------|-----|
| 水源かん養便益 | 洪水防止便益 | 7,214,056 | |
| | 流域貯水便益 | 4,631,757 | |
| | 水質浄化便益 | 7,907,314 | |
| 山地保全便益 | 土砂流出防止便益 | 8,453,824 | |
| | 土砂崩壊防止便益 | 37,171 | |
| 環境保全便益 | 炭素固定便益 | 2,742,367 | |
| 木材生産便益 | 木材生産確保・増進便益 | 1,440,968 | |
| 総 便 益 (B) | | 32,427,457 | |
| 総 費 用 (C) | | 4,306,674 | |
| 費用便益比 | $B \div C = \frac{32,427,457}{4,306,674} = 7.52$ | | |

森林環境保全整備事業 下越地域(新潟県) 概要図

